

2020年度  
**事業計画書**

自 2020年 4月 1日  
至 2021年 3月31日

**一般社団法人 保険者機能を推進する会**

## 1. 事業方針

### (環境)

団塊の世代が後期高齢者へ移行し始める「2022年危機」を控え、全世代型社会保障の実現に向けた様々な予防・健康づくりのための各種保健事業への取り組みや、オンライン資格確認、マイナンバーカードの保険証利用、電子申請環境の構築等のICT化の推進への対応等、健保組合を取り巻く環境が激変する中、我々健保組合は、更なる「保険者機能の発揮」が強く求められている。

### (本会の現状と課題)

昨年11月の全国大会では、推進する会のこれまでの歩みと現況の活動を報告し、「会としての運営の原点＝良質な医療の確保、保険料の効率的な活用、保健事業の推進」を再確認した。また12月に開催した「たばこ対策研究会のシンポジウム」では東京都の小池知事にもご登壇いただき、参加者が350名を超える盛況となった。

こうした活発な活動を背景とし、現状の改革を志す先進的な健保組合の集団としての本会に対する期待の高まりの現れとして、2月末現在で会員数は110と、過去最多となっている。一方、規模の拡大に伴う運營業務量の増加、参加者ニーズの多様化、さらには時代とともに健保に求められる内容の変化(増加)などへの対応も急務となっている。

### (2020年度事業方針)

本会としての運営の原点をさらに追い求めるとともに、会員健保のニーズへの的確に対応しながら、保険者機能の強化を今まで以上に進めることで、本会の価値向上につなげることを目指すという方向性について、事業企画委員会を中心に議論を重ねてきた。

まず、事業の中心となる研究会については、近年参加者の増大につれ、リーダーの負担の高まりなど各研究会における運営上の課題が表面化したことを受け、2020年度は、各研究会が改めてその活動目的と成果物を明確にすると共に、その成果物の対外的な発表や共有の場を拡充するなど、その運営方式を一部見直すこととする。その上で2021年度に向けては、会員健保の期待に応えていくべく、研究会の新設等も含め見直しに向けた取り組みを継続する。なお、ポピュレーションアプローチ研究会、くすり研究会の休止に伴い、2020年度の設置研究会は8研究会となる。

次に、常務理事ゼミナール、医療保険制度ゼミナール、全国大会、基礎知識研修会に関しては、2020年度の大きな見直しは行わないものの、より高いレベ

ルで期待に応えられるよう検討する。なかでも、基礎知識研修会については研究会成果物の共有の場としての活用を推進するなど、目的とニーズに合わせた柔軟な運営をめざす。

プロジェクトは、現行の健保業務効率化プロジェクトを継続するとともに、喫緊の課題が浮上した際は新たなプロジェクトの立ち上げも検討する。

最後に、会の運営課題として、「新設すべき新たな活動と既存の活動の見直しとのバランス」「運営体制(リソース、事務局)の強化拡充」「内外に対するコミュニケーション戦略の構築」などを認識し、会員健保の声をふまえて理事会、事業企画委員会などで検討することとする。

## 2. 事業計画概要

### 2.1 研究会

2020年度に設置する研究会は下記の通り8研究会とする。

#### 2020年度 設置研究会

研 究 会 名	担 当 理 事
レセプト・健診データ分析研究会 Conference on Health Data Analysis	内田 好宣 藤代 勉
健診事業のあり方研究会 Conference on Smart Choice of Health Examination	岡 良廣
特定保健指導応用研究会 Conference on Implementation of Specific Health Guidance and its practical applications	篠原 正泰 鳥潟 美夏子
女性の健康研究会 Conference on Women' s Health Care	木村（沼越）園子 井坂 徳雄
シニアの健康研究会 Conference on Elderly Persons' Health Care	青山 尚弘 中村 喜幸
たばこ対策研究会 Conference on Tobacco Control	宇治野 進
療養費適正化研究会 Conference on Optimization of Medical Care Expenses	小宗 邦彦
扶養認定基準研究会 Conference on Conditions of Registration for Dependents	播磨 俊郎 新谷 元司

(注1) 担当理事 井坂徳雄氏、新谷元司氏、中村喜幸氏は第3号議案で理事に選任されたことを前提とする。

(注2) 2019年度活動していたポピュレーションアプローチ研究会、くすり研究会は休会とする。

## 2.2 医療保険制度ゼミナール

従前の活動を基本的に継続して、健保関係者の医療政策に対する知識や関心の底上げを図るべく保険者にとって重要なテーマを選定し、年4回程度開催することとする。

## 2.3 基礎知識研修会

各健保組合の実務担当者に必要な知識の普及を目的として、外部講師の招聘や会員健保による事例紹介等に加え、研究会からの発表などにより、年5回程度開催することとする。

## 2.4 常務理事ゼミナール

従前どおり常務理事を対象に意見交換およびディスカッションを行う場として、原則として毎月1回、2時間程度を目安に開催することとする。

## 2.5 第9回保険者機能推進全国大会の開催

第9回保険者機能推進全国大会を2020年11月24日（火）に開催する。本会活動の活性化を図るとともに、健保組合が持つ保険者機能の有効性を広く対外的にアピールする場とする。

## 2.6 プロジェクト

2019年度、「業務効率化プロジェクト」を実施したが、実施内容をリニューアルした上で2020年度も継続実施することとする。

また、本会として取り組むべき課題については、その解決手段として、今後もプロジェクトを機動的に発足させ活動を実施するものとする。

## 2.7 事業企画委員会

2019年度に引き続き、事業企画委員会を継続設置する。2020年度は、2021年度に向けた設置研究会の見直し、常務理事ゼミナール、医療保険制度ゼミナール、全国大会、基礎知識研修会のあり方、さらに本会課題などについて検討する。

## 2.8 外部機関との協力関係の推進

健康保険組合連合会本部、各都道府県連合会、関係官公庁、本会と友好関係にある学会、マスコミ、事業者の団体等との良好なチャンネルの維持、開拓を目指す。

### 3. 理事の業務担当

役割	担当理事
広報・渉外	★播磨 俊郎、岡 良廣
財務・組織運営	★木村(沼越)園子、青山 尚弘
会員サポート	★播磨 俊郎、宇治野 進
事務局サポート	★青山 尚弘、木村(沼越)園子

#### <各イベント担当>

全国大会	★青山 尚弘、小宗 邦彦、中村 喜幸
医療保険制度ゼミナール	★篠原 正泰、秋山 実、岡 良廣、内田 好宣 藤代 勉、加藤 進治、新谷 元司
常務理事ゼミナール	★播磨 俊郎、井坂 徳雄
基礎知識研修会	★烏潟 美夏子、小宗 邦彦
効率化プロジェクト	★青山 尚弘、木村(沼越)園子

★は、各業務の統括者

# 収支予算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:円)

科 目	2020年度 予 算 額	2019年度 予 算 額	前年度予算比増 減	2019年度 決算見込	備 考
I 事業活動収入					
1. 会費収入	15,670,000	15,000,000	670,000	15,475,500	算出の基礎参照
2. 一般事業収入			0	0	
臨時会費(総会)	840,000	840,000	0	402,000	算出の基礎参照
臨時会費(事業)	1,508,000	1,670,000	△ 162,000	3,175,900	算出の基礎参照
3. 受取利息収入		0	0	595	
4. 預り金収入		0	0	223,804	
事業活動収入計	18,018,000	17,510,000	508,000	19,277,799	
II 事業活動支出				0	
1. 一般事業費支出				0	
総会費	1,040,000	900,000	140,000	461,404	算出の基礎参照
事業費	3,942,000	3,850,000	92,000	4,588,266	算出の基礎参照
一般事業費支出計	4,982,000	4,750,000	232,000	5,049,670	
2. 管理費支出				0	
給与手当	4,300,000	4,300,000	0	4,300,000	契約に基づき計上
業務委託費	3,000,000	3,000,000	0	2,186,251	前年度と同額
システム管理費	1,120,000	989,760	130,240	981,440	算出の基礎参照
システム改善費	250,000	250,000	0	149,040	算出の基礎参照
会議費	20,000	20,000	0	3,565	前年度と同額
交通費	20,000	20,000	0	11,414	前年度と同額
通信運搬費	250,000	250,000	0	228,526	前年度と同額
事務費	400,000	250,000	150,000	214,023	算出の基礎参照
印刷費	200,000	200,000	0	128,700	前年度と同額
水道光熱費	370,000	370,000	0	360,617	前年度と同額
レンタル費	300,000	300,000	0	286,416	前年度と同額
事務所家賃	3,135,000	3,106,500	28,500	3,111,250	算出の基礎参照
租税公課	53,000	53,000	0	33,300	前年度と同額
雑費	150,000	150,000	0	101,657	前年度と同額
管理費支出計	13,568,000	13,259,260	308,740	12,096,199	
事業活動支出計	18,550,000	18,009,260	540,740	17,145,869	
事業活動収支差額	△ 532,000	△ 499,260	△ 32,740	2,131,930	
III 預り金支出	0	0	0	223,804	
IV 予備費支出	1,000,000	1,000,000	0	0	
V 法人税等支出	70,000	70,000	0	70,000	予算と同額を計上
当期収支差額	△ 1,602,000	△ 1,569,260	△ 32,740	1,838,126	
前期繰越収支差額	7,397,798	5,559,672	5,559,672	5,559,672	
次期繰越収支差額	5,795,798	3,990,412	5,526,932	7,397,798	

収支予算の内訳

科 目	2020年度 予算額	2020年度予算算出の基礎				
I 事業活動収入						
1. 会費収入	15,670,000	会員数(2020年4月1日予想)2/29現在の入会届受領分を含む				
		規模区分	会費	該当会員数	会費収入	
		1	110,000	33	3,630,000	
		2	130,000	20	2,600,000	
		3	150,000	17	2,550,000	
		4	170,000	22	3,740,000	
		5	190,000	16	3,040,000	
		準会員	110,000	1	110,000	
		合 計		109	15,670,000	
2. 一般事業収入						
臨時会費(総会)	840,000	定時総会	懇親会費	参加人数	会費収入	
		決算総会	6,000	70	420,000	
		予算総会	6,000	70	420,000	
		各回招待人数 (ゲスト、事務局)		5	840,000	
臨時会費(事業)	1,508,000	第9回全国大会				
			会費	参加人数	会費収入	
		一 般	大 会	3,000	130	390,000
			懇親会	6,000	50	300,000
		会 員	大 会	2,000	148	296,000
			懇親会	6,000	87	522,000
					1,508,000	
3. 雑収入						
事業活動収入計	18,018,000					
		●総会費は全額臨時会費収入にて負担				
		総会費収入		840,000		
		招待者、及び会場費値上がりによる持ち出し		200,000	1,040,000	
		●事業費への予算充当				
II 事業活動支出		全国大会	講師謝礼	200,000	2019と同額	
1. 一般事業費支出			交通費・宿泊費	100,000	2019と同額	
総会費	1,040,000		ホール・会議室3	250,000	2019と同額	
事業費	3,942,000		備品一式	150,000	2019と同額	
一般事業費支出計	4,982,000		パンフレット	70,000	2019と同額	
2. 管理費支出			パンフレット郵送料	100,000	2019と同額	
給与手当	4,300,000		当日プログラム	420,000	2019と同額	
業務委託費	3,000,000		その他	50,000	2019と同額	
システム管理費	1,120,000				1,340,000	
システム改善費	250,000	基礎知識研修会(年5回)		300,000	2019より増額	
会議費	20,000	医療保険制度ゼミナール(年4回)		400,000	2019より増額	
交通費	20,000	常務理事ゼミナール		30,000	2019と同額	
通信運搬費	250,000	効率化プロジェクト		50,000	2019と同額	



科 目	2020年度 予算額	2020年度予算算出の基礎	
事務費	400,000	研究会事業費枠	
印刷費	200,000	平等割	400,000
水道光熱費	370,000	人数割	240,000
レンタル費	300,000	事務局預かり	360,000 1,000,000
事務所家賃	3,135,000	合 計	3,120,000
租税公課	53,000	給与手当	事務局委託費 4,300,000
雑費	150,000	業務委託費	事務局サポート 3,000,000 2019と同額
管理費支出計	13,568,000	システム管理費	法研、どこでもキャビネット他 1,120,000 SSL証明追加
事業活動支出計	18,550,000	システム改善費	ホームページ修正 250,000
事業活動収支差額	△ 532,000	事務費追加費用	ノートPC購入(セットアップ料含む) 126,500
III 予備費支出	1,000,000		お名前・COM、ウェルスバスター 23,500 150,000
IV 法人税等支出	70,000	事務所家賃	237,500×12×1.1 3,135,000
当期収支差額	△ 1,602,000	予備費計上の主たる目的	
前期繰越収支差額	7,397,798	・会費収入減少／支出増加等への備え	
次期繰越収支差額	5,795,798		